

東北農業青年応援通信第112号

トピックス

1. やまがた元氣「農の風」のご紹介（東北農政局山形県拠点）
2. 「農産物の環境負荷低減の取組の『見える化』に関する東北地区研修会の開催及び参加者募集について」のご案内（東北農政局）
3. 東北農政局公式 SNS（Instagram）について（東北農政局）
4. 新規就農者の事例の紹介（農林水産省）
5. 「雇用就農資金」令和6年度第3回目の募集について（農林水産省、一般社団法人全国農業会議所）
6. 「労働力確保体制強化事業」（就労条件改善タイプ）の第3回募集について（農林水産省、株式会社マイファーム）
7. 【参加費無料】農業者年金オンラインセミナー開催のお知らせ（独立行政法人農業者年金基金）

1. やまがた元氣「農の風」のご紹介（東北農政局山形県拠点）

東北農政局山形県拠点では、山形県鶴岡市にIターンで移住就農した新規就農者の江辺 高志さんを紹介しています。東京都出身の江辺さんは、IT関係の企業に勤務していましたが、農繁期に親戚の米農家の手伝いを経験したことなどから農業に関心を持ち始め、コロナ禍等をきっかけに全国の就農イベントフェアに参加。その中で支援が充実していると感じた鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS」での2年間の研修を経て、新規就農しました。記事では、江辺さんの就農のきっかけや今後の目標等を詳しくみることができます。ぜひ、ご覧ください。

<江辺さんについての記事はこちらから>

https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/yamagata/nou_no_kaze/attach/pdf/202411-nonokazeNo41.pdf

<これまでの記事はこちらから>

https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/yamagata/nou_no_kaze/r03.html

2. 「農産物の環境負荷低減の取組の『見える化』に関する東北地区研修会の開催及び参加者募集について」のご案内（東北農政局）

東北農政局は、本年 3 月に本格運用を開始した、農産物の環境負荷低減の取組の『見える化』を更に一層拡大するために、生産者などを対象に、令和 6 年 11 月 18 日(月)13 時 30 分～15 時、仙台合同庁舎 A 棟 8 階講堂において、東北地区研修会を開催します。参加費は無料です。以下の参加申込みフォームよりお申込みください(申込締切：11 月 14 日(木)17 時)。

※会場での参加は先着順（50 名まで）となります。オンライン（Zoom）での参加も可。

<参加申し込みフォームや詳しい内容はこちらから>

農産物の環境負荷低減の取組の『見える化』に関する東北地区研修会の開催及び参加者募集について

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/kankyo/241028.html>

参加申し込みフォーム

https://questant.jp/q/ws_in_tohoku

3. 東北農政局公式 SNS（Instagram）について（東北農政局）

東北農政局では、Instagram を活用した SNS での情報発信を始めました。農林漁業者、食品事業者等にとって役立つ情報のほか、東北の旬の農林水産物、農林水産業・食品産業に関するイベント情報等東北の魅力を発信していますので、ぜひご覧ください。

<詳しい内容はこちらから>

東北農政局公式 Instagram

https://www.instagram.com/maff_tohoku/

東北農政局ソーシャルメディア一覧

https://www.maff.go.jp/tohoku/press/social_media/index.html

4. 新規就農者の事例の紹介（農林水産省）

農林水産省では、農業次世代人材投資事業や経営発展支援事業を活用して就農した農業者の事例を紹介しています。

<詳しい内容はこちらから>

新規就農者の事例：農林水産省

https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/nougyou_shigoto2_2.html

5. 「雇用就農資金」令和6年度第3回目の募集について（農林水産省、一般社団法人全国農業会議所）

公募期間：令和6年10月15日（火）～11月15日（金）

事業概要：雇用就農者の確保・育成を推進するため、就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して資金を交付。また、農業法人等がその職員等を次世代の経営者として育成するために国内外の先進的な農業法人や異業種の法人へ派遣して実施する研修を支援。

<詳しい事業内容や応募はこちらから>

「雇用就農資金」令和6年度第3回目の募集を開始します（令和7年2月事業開始分）：農林水産省

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/zinzai/241015.html>

雇用就農資金：農業をはじめのJP

https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/original/

6. 「労働力確保体制強化事業」（就労条件改善タイプ）の第3回募集について（農林水産省、株式会社マイファーム）

公募期間：令和6年10月21日（月）～12月20日（金）

事業概要：産地の農業経営体・地方公共団体等で構成される地域協議会等による労働力確保に向けた就労条件改善等の取組や、他産地・他産業との連携等の取組を支援。

<詳しい事業内容や応募はこちらから>

農業労働力確保支援事務局：株式会社マイファーム

https://myfarm.co.jp/roudouryoku/r5_h/

7.【参加費無料】農業者年金オンラインセミナー開催のお知らせ(独立行政法人農業者年金基金)

農業者の皆様は農業者年金についてもっと知っていただきたく、(独)農業者年金基金では、令和6年度から新たにオンラインセミナーを開催することにいたしました。本セミナーでは、農業経営等に知見のある専門家を講師として招き、農業経営における農業者年金の活用方法や資産運用における農業者年金の特徴(メリット)などを解説していただきます。農業者年金について聞いたことがあるけど、内容がよく分からない農業者の方、資産運用を始めたいけど、運用商品の選択が難しいと感じている農業者の方、税制優遇措置をお探し中の農業者の方など、この機会に是非とも御参加ください。

開催日時：令和6年12月11日(水)15:00～16:00

申込締切：12月10日(火)※定員(先着500名)に達した場合は、申込を締切ります。

<詳しい内容や申込はこちらから>

申込フォーム

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_A7ofmMwXTBWaLsIiY3ysH

Q

令和6年度農業者年金オンラインセミナーの開催について：独立行政法人農業者年金基金

<https://www.nounen.go.jp/nounen/seido/gaiyou/seminar/index.html>

お問合せ先

独立行政法人農業者年金基金(担当：企画調整室) TEL：03-5919-0332



発行：東北農政局経営・事業支援部経営支援課

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1

TEL : 022-221-6217

◇バックナンバーはこちらから↓

https://www.maff.go.jp/tohoku/keiei/new_farmer/ouen.html

◇このメールマガジンについてのご感想・ご意見がある方や配信停止をご希望される方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

tohoku_ag-seinen@maff.go.jp

